IAUD Newsletter Vol.16 2023.5 No.2

IAUD Newsletter vol.16 第２号(2023 年５月号)

1. IAUD 創立 20 周年記念特集 未来への提言②IAUD 国際デザイン賞の軌跡‥1
2. IAUD 国際デザイン賞 2023 募集開始のご案内‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥11
3. UD 検定オンライン 初級第 29 回開催のご案内‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥11
4. IAUD 2023 年５月の予定‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥12

IAUD 創立 20 周年記念特集 未来への提言②IAUD 国際デザイン賞の軌跡

UD を対象とした世界唯一の国際的デザイン賞

世界 14 か国から約 200 人が参加した「IAUD 国際デザイン賞 2022 プレゼンテーション／表彰式」の様子

日本で最大最古の UD 推進団体である IAUD は、2023 年 11 月 28 日で創立 20 周年を迎えます。これも、IAUD の創立と発展にご尽力賜りました関係者の皆様、並びに日々の活動にご参加いただきました会員の皆様のご支援とご協力の賜物です。

IAUD はこの 20 年間で取り組んできた事業を今後も責任をもって続けるとともに、これまでの成果と実績を世界に向けてしっかりと発信し、日本発の UD をより一層広めてまいります。

創立 20 周年を迎えるにあたり、Newsletter では「創立 20 周年記念特集 未来への提言」を連載しております。

2 回目は、一人でも多くの人が快適で暮らしやすい UD 社会の実現に向けた革新的な取り組みを国際的に表彰する「IAUD 国際デザイン賞」事業の軌跡を振り返ります。

また、現在募集中の「IAUD 国際デザイン賞 2023」についてもご案内します。

UD 社会の実現に向けた活動を表彰するため 2010 年創設

「IAUD 国際デザイン賞」は、2010 年に UD 社会の実現に向けた活動を表彰する「IAUD アウォード」としてスタートしました。

当初は国際 UD 会議に併せて 2 年毎に開催していましたが、3 回目の「IAUD アウォード 2013」より毎年開催となりました。

同時に、UD において一定のレヴェルをクリアしたと認める「IAUD アウォード」の授与を新設しました。これにより、「IAUD アウォード」を授与されたすべての応募は「IAUD アウォードマーク」の使用が可能となり、広報や宣伝に活用できるので、当事業は UD 達成度を競い合うのではなく、「認定」の意味を持つようになりました。

「IAUD アウォード 2010」表彰式
（2010 年 11 月、静岡・浜松）

また、「IAUD アウォード 2014」からは、各賞に授与される「IAUD アウォードマーク」をより正しく広報活動に使用いただくよう、使用期間及び使用料を規定しました。

初の海外開催となった
「IAUD アウォード 2017」表彰式
（2018 年 3 月、ドイツ・ミュンヘン）

さらに、「IAUD アウォード 2017」の表彰式は初の海外となるドイツ・ミュンヘンで開催し、当事業を海外へ配信する好機となりました。

そして、より海外での知名度を高めるために、2018 年には「IAUD 国際デザイン賞」と名称を改め、表彰式はタイ・バンコクで実施しました。

同時に、社会状況の変化に合わせて水準を引き上げる時期であると判断し、新たに 6 つの審査基準（4 ページご参照）も設けました。

どなたでも応募可能

「IAUD 国際デザイン賞」には、「まちづくり、ものづくり、仕組みづくりなど、持続可能な共生社会の実現に向けた革新的な UD 活動や提案」に関心のある国内外すべての企業、団体あるいは個人やグループが応募できます。

また、特定の店舗やチームなど、企業や団体の下位組織も応募資格を持ちます。応募者独自の著作物や実施例であれば、発表、未発表の別を問いません。

「IAUD 国際デザイン賞 2019」表彰式
（2019 年 12 月、東京・赤坂）

2021 年からは、「未来への提案」「学生デザインチャレンジ」の 2 つの応募カテゴリーが創設されました。

「未来の提案」は、インクルーシヴなデザインプロセスに基づいた、まだ実行されていないプロジェクトが応募できます。

「学生デザインチャレンジ」は、ユーザー中心とした研究とインクルーシヴなデザインプロセスを適用している学生のプロジェクトを対象としており、UD の実践者の育成を奨励するものです。

世界 7 か国 9 名による審査委員会

「IAUD アウォード 2012」表彰式臨席の各審査委員（2012 年 10 月、福岡）

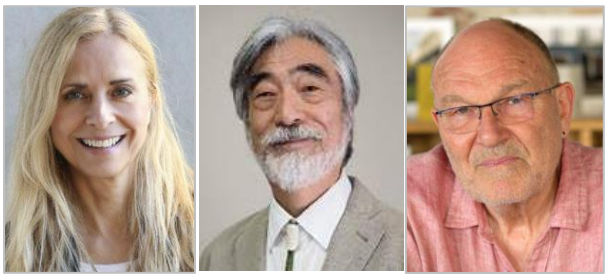
「IAUD 国際デザイン賞」は、持続可能な共生社会の創造を到達目標としており、その実現に向けた革新的な UD 活動や提案を審査対象としています。

選考は、英国、米国、ドイツ、ノルウェー、スペイン、タイ、日本を代表する 9 名の UD 専門家から構成される「IAUD 国際デザイン賞審査委員会」により、厳正な審査が行われます。

「第 1 次審査」「第 2 次審査」を経て、UD 理念の提示や具体的なアイデアの提案、活動の実践などを踏まえ、国際的な視野から審査します。そして、UD において一定の水準を満たしていると審査委員会が判断した応募を「IAUD 国際デザイン賞」の受賞対象とし、その中で最も優れていると判断したものに「大賞」、また部門別に「金賞」「銀賞」「銅賞」を授与します。

受賞発表時、各受賞対象の受賞理由や特に優れていた点などは、「審査講評」として公開されます。

また、惜しくも受賞を逃した応募者には、なぜ入選に至らなかったか、審査委員会による簡単なコメントを非公開で送付しますので、次回の応募の参考としていただくことができます。



（左上から）エイクハウグ審査委員長、益田副審査委員長、コールマン審査顧問、
アラガイ審査委員、バーデ審査委員、フレッチャー審査委員、ギーラオ審査委員、サワスリ審査委員、川原審査委員

審査委員長：オンニ・エイクハウグ（EIDD デザインフォーオール・ヨーロッパ理事：ノルウェー）
副審査委員長：益田文和（株式会社オープンハウス代表取締役：日本）
審査顧問：ロジャー・コールマン（王立芸術大学院名誉教授：英国）

審査委員：フランセスク・アラガイ（デザインフォーオールインターナショナル代表：スペイン）
同：トーマス・バーデ（IUD ユニヴァーサルデザイン研究所創設者：ドイツ）
同：ヴァレリー・フレッチャー（人間中心デザイン研究所所長：米国）
同：ラーマ・ギーラオ（王立芸術大学院ヘレンハムリンセンター所長：英国）
同：アンティカ・サワスリ（モンクット王工科大学建築・芸術・デザイン学部長：タイ）
同：川原啓嗣（名古屋学芸大学名誉教授：日本）

6 つの審査基準と 5 つの本質的目標

全ての応募は、以下の 6 つの「審査基準」に合致しているか綿密に審査されます。5 つの「本質的目標」の実現を目指した革新的な活動や提案を高く評価します。

【6 つの審査基準】

1. 斬新で躍動的な、UD の新境地を開くものであること。
2. 市場から排除されがちな障害者等との密接な関係を基にした質の高いユーザー中心の研究が認められること。
3. 特定のユーザーグループが技術革新から取り残されないよう配慮されていること。
4. 多様なユーザーグループに属する特殊な問題を捉え解決策を提供するなど、従来の「ユーザビリティ」を超える提案であること。
5. 企業の全社的なビジョンと継続的な改善計画に基づいた UD への長期的組織的実践が示されていること。
6. 誠実で説得力のある説明資料に裏付けされていること。

【5 つの本質的な目標】

1. サステイナブルとユニヴァーサル：持続可能な共生社会創造のための理念と実践。
2. 多様性と包摂性：伝統、文化、生活様式、そして人間の多様性を理解し、少数を排除せず、積極的に包含することで、質的に豊かで幸福な暮らしを実現する。
3. 安全・安心な社会：人権を守り、人間性を尊重した社会の仕組み、制度、モラルの構築。
4. 自発的、かつ持続的な対話：企業・行政・研究機構・NPO、そして生活者間の交流、および関係の構築。
5. 世代を超えた知恵と技の継承：UD の普及啓発により、次世代を担う人材を育成する。

プロジェクトを世界に紹介できる絶好の機会

「IAUD アウォード 2016」表彰式
（2016 年 12 月、愛知・名古屋）

エイクハウグ審査委員長は、IAUD 国際デザイン賞について、「UD を対象とした唯一の国際的なデザイン賞。パンデミックや自然災害、政治的混乱など世界中が様々な課題に直面している現在、実生活の問題解決に焦点を当てている IAUD 国際デザイン賞がいかに重要か実感されている」としています。

また、これから応募を考えている方には、「素晴らしいプロジェクトと成果を世界に紹介できるこの絶好の機会を逃さないでほしい。ユーザー中心の開発の普及を加速するだけではなく、自分自身に名誉をもたらし、世界中の仲間や同僚にインスピレーションを与え、あらゆる年齢や多様な能力の人々に利益を与えることができる」とし、「賞を通じて、お互いに情報や知識を共有し学ぶことで、国境を越えて能力と知識を一緒に構築し、よりインクルーシヴで公平なグローバル社会を導いていきましょう」と述べています。

また、コールマン審査顧問も IAUD 国際デザイン賞について、「使いやすさや社会的・環境的持続可能性、包摂性、知識移転という UD の重要な特質を満たすか、その実現に向け鋭意努力しているすべての応募に授与される」とし、期待する応募に関しては、「斬新で UD の新境地を開く、革新的で人間中心デザインの取り組みを称えたい。特に、UD の基礎要件である、デザインプロセスへのユーザー参加と対話の存在を明確に示すことを求める」と述べています。

SDGs と関連の項目番号を表示

SDGs 17 項目

「IAUD 国際デザイン賞」を受賞したすべての取り組みには、関係の深い SDGs（国連の持続可能な開発目標）の項目番号を表示しています。

UD の基本理念である包摂性（Inclusivity）は「誰一人取り残さない」という SDGs の原則と一致しており、UD と SDGs とは連動していると言えます。

そのことをより分かりやすくするため、2020 年度より各受賞と関係の深い SDGs の項目番号を表示することにしました。

表彰式には世界中から参加

「IAUD 国際デザイン賞 2018」表彰式
（2019 年 3 月、タイ・バンコク）

毎回開催している表彰式では、審査結果の公式発表と表彰状授与、大賞と金賞の受賞者によるプレゼンテーションを行っています。

これまでに、表彰式は国内では東京や横浜、浜松、名古屋、福岡、さらに「IAUD アウォード 2017」ではドイツ・ミュンヘン、「IAUD 国際デザイン賞 2018」ではタイ・バンコクと、海外でも開催してきました。

表彰式会場には、受賞の取り組みを紹介するパネルも展示されます。また、メディア関係者も参加しており、その様子は新聞や雑誌、テレビ等で紹介されました。

2020 年からは、新型コロナウイルス感染症対策のためオンラインで実施しており、毎回世界各国から約 200 人もの参加者があります。

（左から）「IAUD アウォード 2013」表彰式会場でのパネル展示（2013 年 11 月、神奈川・横浜）、表彰式開催が放送されたノルウェーのニュース番組、雑誌「日経デザイン 2023 年 4 月号」

広報活動に有効な IAUD 国際デザイン賞マーク

すべての受賞者は、「IAUD 国際デザイン賞マーク」の使用が認められ、受賞した取り組みのアピールや受賞者のイメージアップに役立ちます。

「大賞」「金賞」「銀賞」「銅賞」の各マークは、受賞発表後 1 か月の PR 期間中は無償で使用できます。

期間終了後は規定の使用料金を支払うことで、引き続き広報活動等に使用可能です。

IAUD 国際デザイン賞 2023
大賞マーク

受賞後 5 年目以降の使用料は 50%減額、10 年目以降の使用料は無料です。受賞者が国や地方自治体などの行政機関や学校法人、医療法人、宗教法人、財団・社団法人、NPO 法人などの公共機関や団体である場合は、マーク使用料は無料、受賞者が個人または中小企業である場合には、使用料は 50%減額となっています。

また、特別カテゴリー「学生デザインチャレンジ」の受賞では、使用料無料としています。

2010 年から 2022年までの大賞受賞全 22 件一覧

「IAUD 国際デザイン賞」は毎年、個人的なプロジェクトから企業による大規模なプログラムまで、国内外より多く応募があり、回を重ねるごとに多様な分野での応募が増えています。

このような応募状況に対応して、過去 12 回にわたり「IAUD 国際デザイン賞」事業の成功と UD への理解の高まりを実証するような、優れた活動や製品が受賞してきました。

これまでに大賞を受賞した全 22 件の取り組みをご紹介します。いずれも、共生社会の実現を推進し、UD の新境地を開く革新的な取り組みとなっています。

大賞の表彰状

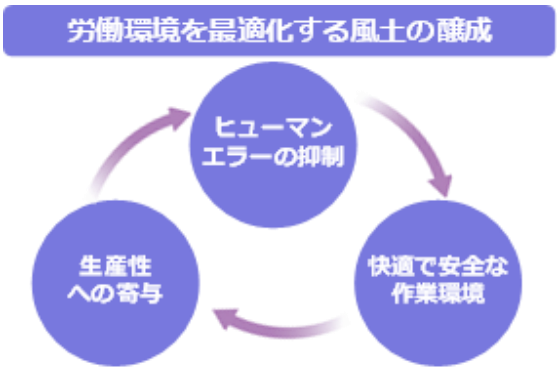
※タイトルをクリックすると受賞内容の詳細を掲載した Newsletter にリンクします。
（2022 年度大賞受賞を除く）

[フィリピン国内の地方における障害者のためのバリアフリー環境形成プロジェクト](#)
JICA／フィリピン国家障害者協議会

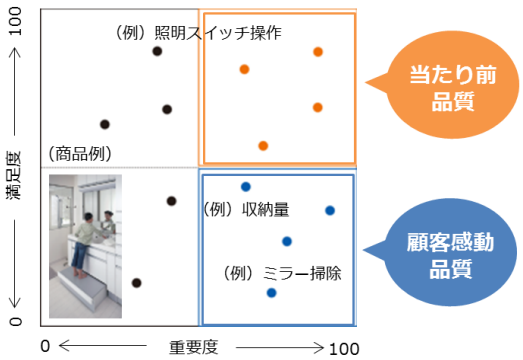
[納得工房体験型研修とSH-UDマスタープランナー制度によるUD啓発活動](#)
積水ハウス株式会社

[Honda 新型軽乗用 N-BOX+車イス仕様](#)
本田技研工業株式会社／
株式会社本田技術研究所

[イオングループの施設づくりUDの取り組み](#)
イオンリテール株式会社



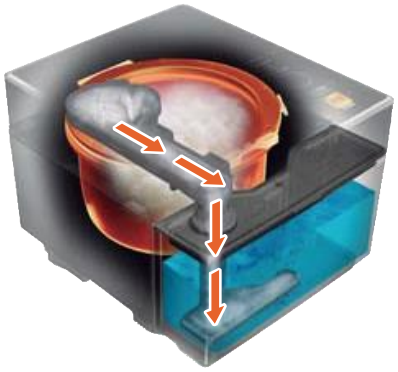
[UD視点による現場作業性改善](#)
三菱電機株式会社



UD 定量評価手法の開発および社内認定評価制度の構築
パナソニック株式会社

西葛西・井上眼科病院における人間の感覚に基づいた安全・安心の新たな UD の取り組みと実践
済安堂／鹿島建設株式会社

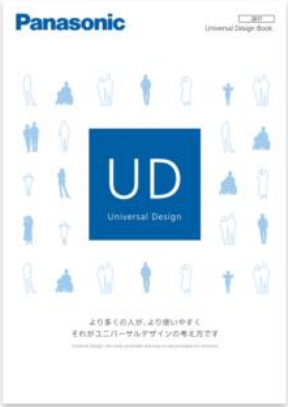
Universal Design Education and Development
DJ Academy of Design（インド）



らく楽アシスト～あん心してらくに楽しく使える製品開発の取り組み～
三菱電機株式会社

Fujitsu GUI Next Plus（FGNP）～誰もが公平にソフトウェアを使える社会に向けた新しい GUI デザイン基盤～
富士通株式会社

ムスホルム ホリデー スポーツ コンファレンスセンター
デンマーク筋ジストロフィー財団（デンマーク）



パナソニックの UD コミュニケーション
パナソニック株式会社

みんなにトイレをプロジェクト
株式会社 LIXIL

災害対策本部から住民まで一貫したユニバーサルな総合防災ソリューション
富士通株式会社／
富士通デザイン株式会社

Vision of The Fjords
The Fjords DA(ノルウェー)

SoundUD 推進コンソーシアム
ヤマハ株式会社

音をからだで感じるユーザインタフェース“オンテナ”
富士通株式会社／
富士通デザイン株式会社

米国オリンピック＆パラリンピック博物館
Centre Screen Ltd／
Gallagher & Associates
（アメリカ、英国）

聴覚障がいや言語の壁を乗り越える「しゃべり描き®アプリ」の取り組み
三菱電機株式会社／
兼松コミュニケーションズ株式会社

Hamaren Aktivitetspark
Fyresdal commune（ノルウェー）

西ノルウェー応用科学大学クロンスタッドキャンパス
Metropolis arkitektur & design AS 他
（ノルウェー）

HSBC Accessibility Hub
HSBC（英国）

持続可能な共生社会を目指す UD 活動を国際的に表彰
IAUD 国際デザイン賞 2023 募集開始のご案内

IAUD は、「IAUD 国際デザイン賞 2023」の募集を開始しました。今回も、革新的な UD 活動や提案を応援します。

第 1 次審査応募締め切りは **7 月 31 日(月)**です。皆様の応募をお待ちしております。

「IAUD 国際デザイン賞 2023」詳細・応募はこちらをご覧ください。

（左から）「IAUD アウォード 2014」表彰式（2014 年 11 月、東京・お台場）、
「IAUD アウォード 2015」表彰式後の懇談会（2016 年 3 月、愛知・日進）

在宅で好きな時に UD 資格習得
UD 検定オンライン 初級第 29 回開催のご案内

IAUD は「UD 検定初級第 29 回」をオンラインで開催します。

「UD 検定初級」は、UD に関する基礎的な知識を学習する講習と力試し問題、検定試験（30 分・50 問）のセットです。問題は全て受講した講習内容から出題されます。

合否は検定試験終了後すぐに判定され、合格者には認定証を発行します。

初級オンライン講習の画面

「UD 検定オンライン初級第 29 回」の申し込み受付は **5 月 18 日(木)**までです。この機会に是非、ご利用ください。

※「UD 検定オンライン初級第 29 回」詳細・申し込みはこちらをご覧ください。

※「UD 検定オンライン初級第 1 回」開催報告の Newsletter はこちらをご覧ください。

IAUD 2023 年 5 月の予定

月	火	水	木	金	土	日
1	2	3 憲法記念日	4 みどりの日	5 こどもの日	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18 **第29回UD検定** **初級申込締切** 14:50～ 衣の UDPJ オンライン会合	19	20	21
22	23	24	25	26 13:00～ 運営委員会 オンライン会合	27	28
29	30	31				

次号は 2023 年 6 月上旬発行予定
特集: 創立 20 周年記念特集③

一般財団法人国際ユニヴァーサルデザイン協議会 事務局
http://www.iaud.net/
e-mail:info@iaud.net
Instagram: iaud.info
LinkedIn: international association for universal design